

大阪高等学校体育連盟バドミントン専門部（以下専門部と表記します）では、毎年8月中旬に大阪高等学校総合体育大会バドミントン競技の部を実施します。連日、時に35℃を超える中で試合をしますので、熱中症またはそれに近い症状が出る可能性があります。これに関して、保護者と思われる匿名の方から、「実際に昨年子供をはじめ周囲で4人ほどが熱中症にかかった。対策はどうなっているのか」という趣旨のご意見をいただきました。貴重なご指摘ありがとうございます。

専門部では以下のことに注意をして、大会運営をおこなってまいります。

1. 使用するフロアの室温に注意し、高温になった場合、プレーを一時中断してでもフロアの換気をおこないます。
2. 千島体育館では、エアコンの効いた大会議室をできるだけ借りていきますので、そちらを利用していただきます。
3. 大阪府立門真スポーツセンター（ラクタブドーム）では、サブアリーナ以外の部分にゆるくエアコンが入っていますので、そちらで休息をとってください。
4. 一日に一人がおこなう試合数が過重にならないよう、日程を調整しています。（学校対抗の部等、どうにもならない部分もあります）
5. 応急処置として、本部席にアイスパックを用意しておきます。
6. 症状が重い場合、体育館と連携をとって救急搬送などの対応をおこないます。

各学校の方で、顧問の先生は以下の点に注意していただきますよう、お願いいたします。

1. 当日試合に出る選手の健康状態は必ずチェックしてください。
2. 少ししんどいくらいでは選手は必ず「続ける」と言います。様子がおかしい場合は顧問が止めてください。そのためにも試合への付添をお願いします。
3. 今回ご意見をいただいた方の場合、試合から帰ってから症状がでたようです。このような場合、事後報告で結構ですので専門部にご連絡をいただければと思います。
4. 学校対抗の部の時が、一日あたりの試合数が一番多くなる可能性があります。選手の状態を見て、オーダーを決めてください。

生徒（選手でない応援の人も）の皆さんにもお願いします。

1. 十分な体調管理をおこなって試合に臨んでください。
2. 具合が悪くなってしまった場合は、残念ですが、「やめる」勇気を。
3. 少しでも異常を感じた場合は近くの大人に訴えてください。

生徒が安全に、日頃の実力を出し切れることが一番かと思えます。なかなか行き届きませんが、ご理解の上、ご協力いただければと思います。